

事務事業チェックシート

事務事業No 383 事業名 経済動向調査分析事業

[長期総合計画]

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政策	1	地域を支える既存産業の振興
施策	1	地域を支える既存産業の振興
取組方針		

事業種別	継続		
事業期間	～		
事業実施の根拠法令			
関連個別計画			
担当課・担当課長・Tel	産業政策課	佐竹 美登里	435-1040
関連課	全部局		

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		商工費	
	項		商工費	
	目		商工総務費	
	大事業		商工総務事業	
中事業		経済動向調査分析事業		

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にする)ための事業か 和歌山市内の景況・経済実態を迅速かつ正確に把握できるような情報収集を行い、各課に配布するとともに、各行政施策を企画立案するための基礎資料として提供するもの。				
	全体事業概要 1 和歌山市景況動向調査 (委託先: 財団法人 和歌山社会経済研究所) (1) 調査概要 和歌山市社会経済研究所がアンケート方式で実施している景況動向調査から市内企業の回答を抽出し判断指数としてBSI(ビジネス・サーベイ・インデックス)を用いて分析を行う。年4回作成 (2) 調査項目 景況・業況・売上・収益・仕入価格・販売価格の動向・資金繰り・雇用などを調査 2 和歌山市経済動向調査 (1) 調査概要 様々な経済指標をもとに、本市経済の状況を把握するために作成する。 (2) 調査項目 景況動向指数、鉱工業生産指数、住宅新設着工戸数、新車登録販売台数、公共工事請負額、消費者物価指数、企業倒産件数、百貨店・スーパー販売額、家計消費支出、総実労働時間・実質賃金指数				
事業内容	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
	和歌山市景況動向調査報告書及び和歌山市経済動向調査報告書を作成し、関係各課に通知を行い、行政施策推進の参考資料として有効活用を図る。 市内事業所を訪問し、現状・課題の把握を行う。 企業との意見交換を行い、現状・課題の把握を行い情報の共有を行う。 わかやまし産業ファイルを作成し、市民・関係機関・視察者へのPR・情報提供とともに、職員の施策の参考とする。	和歌山市景況動向調査報告書及び和歌山市経済動向調査報告書を作成し、関係各課に通知を行い、行政施策推進の参考資料として有効活用を図る。 市内事業所を訪問し、現状・課題の把握を行う。 企業との意見交換を行い、現状・課題の把握を行い情報の共有を行う。 わかやまし産業ファイルを作成し、市民・関係機関・視察者へのPR・情報提供とともに、職員の施策の参考とする。	和歌山市景況動向調査報告書及び和歌山市経済動向調査報告書を作成し、関係各課に通知を行い、行政施策推進の参考資料として有効活用を図る。 市内事業所を訪問し、現状・課題の把握を行う。 企業との意見交換を行い、現状・課題の把握を行い情報の共有を行う。 わかやまし産業ファイルを作成し、市民・関係機関・視察者へのPR・情報提供とともに、職員の施策の参考とする。	和歌山市景況動向調査報告書及び和歌山市経済動向調査報告書を作成し、関係各課に通知を行い、行政施策推進の参考資料として有効活用を図る。 市内事業所を訪問し、現状・課題の把握を行う。 企業との意見交換を行い、現状・課題の把握を行い情報の共有を行う。 わかやまし産業ファイルを作成し、市民・関係機関・視察者へのPR・情報提供とともに、職員の施策の参考とする。	和歌山市景況動向調査報告書及び和歌山市経済動向調査報告書を作成し、関係各課に通知を行い、行政施策推進の参考資料として有効活用を図る。 市内事業所を訪問し、現状・課題の把握を行う。 企業との意見交換を行い、現状・課題の把握を行い情報の共有を行う。 わかやまし産業ファイルを作成し、市民・関係機関・視察者へのPR・情報提供とともに、職員の施策の参考とする。

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	775	743	655	642	645	639	645	645	645	645
伸び率(%)	-	-	▲15.5%	▲13.6%	▲1.5%	▲0.5%	0.0%	▲100.0%	0.0%	-
人件費	正規職員	16,000	5,725	16,000	5,282	5,664	5,458	5,171	5,171	5,171
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	16,000	5,725	16,000	5,282	5,664	5,458	5,171	5,171	5,171
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他										
一般財源(税等)	775	743	655	642	645	639	645	645	645	645
所要人数(人)	正規職員	2.11	0.75	2.11	0.66	0.71	0.68	0.65	0.65	0.65
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0	0	0
主な予算内訳	手数料(景況実態調査) 605千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
景況動向調査報告書の作成	景況動向調査報告書の作成	回	目標値	4	4	4	4	4
			実績値	4	4	4	4	4
			達成度(%)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
和歌山市経済動向調査報告書の作成	和歌山市経済動向調査報告書の作成	回	目標値	4	4	4	4	4
			実績値	4	4	4	4	4
			達成度(%)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
景況動向調査報告書の通知回数	景況動向調査報告書の通知回数	回	目標値	4	4	4	4	4
			実績値	4	4	4	4	4
			達成度(%)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
和歌山市経済動向調査報告書の通知回数	和歌山市経済動向調査報告書の通知回数	回	目標値	4	4	4	4	4
			実績値	4	4	4	4	4
			達成度(%)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

4 事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)		達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない		見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実	/			
	現状維持	/		○	/
	縮小	/		/	/
	廃止	/		/	/
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	和歌山市景況動向調査、和歌山市経済動向調査いずれも、迅速に作成、配布をすることで各行政施策を企画立案するための基礎資料として有効に活用できる。
見直し・改善内容	